

良寛と貞心尼の出会いの地を巡る。

人々に慕われ、自然の中に生きた良寛さんの心を感じる道の駅。



良寛の里美術館
Ryokan no Sato Art Museum

地元で大切に守られてきた良寛と貞心尼の書や詩歌を多数所蔵し、展示する美術館。

茶室 指月亭
Tea room Shigetutei

簡素な平屋造りの茶室は、風流を愛した良寛にふさわしく、落ちついた趣きあるたたずまい。4月～11月の日曜、祝日は無料でお茶がいただける。

歴史民俗資料館
Museum of Local History and Folk Culture

八幡林遺跡より出土した「沼垂城」、「郡司符」の木簡など、「日本書紀」にも記された奈良から平安時代の貴重な歴史遺産、および民俗資料を展示。

菊盛記念美術館
Kikumori Memorial Art Museum

ロダンや高村光太郎、柳原義達など20世紀日本の代表的な具象彫刻家の作品や伊東深水、長谷川利行などの絵画を展示した美術館。

道の駅 良寛の里washima
Roadside Station Ryokan no Sato Washima

もてなし家 Motenashiya
築180年の古民家を移築した地域交流センター。地元の郷土料理が楽しめる。地域の特産品、季節の野菜や山業の販売コーナーがある。

良寛と貞心尼が出逢った「はちすば通り」
Hachisuba Avenue

宇奈具志神社
出田の宮詩歌碑

隆泉寺
●良寛禪師墓碑
●たくはつ良寛像
●大藏経碑

木村家
●良寛禪師遷化碑
●良寛禪師庵室跡碑

早川商店
●与市地藏尊

塩之入トンネル
与板・長岡方面

阿弥陀瀬トンネル
与板・長岡方面

出逢いの庵
Meet Hermitage

晩年、和島(島崎)に移り住んだ良寛が貞心尼と出逢い、美しい師弟愛を育んだという史実にちなみ設けられた庵。

お休み処和らぎ家
Yawaragiya

地元特産のガンジースイーツが味わえるカフェが併設。広々とした館内では体験イベント・教室・ギャラリーが定期的に行われている。

宇奈具志神社
Unagushi Shrine

良寛が子どもたちとかくれんぼをして遊び、涼を求め休んだ神社。良寛が詠んだ「出田(いずるた)の宮」の詩歌碑がある。

木村家
Kimura Residence (Ryokan's Final Home)

良寛と貞心尼が出逢った木村家。良寛が74歳で息をひきとるまで身を寄せていた。庵室跡には「良寛禪師庵室跡」の碑が建っている。

隆泉寺(良寛墓碑)
Ryusenji Temple

木村家の菩提寺。良寛たくはつ像と本堂左手奥の木村家墓地には、木村家の墓、良寛の墓、弟由之の墓が仲よく並んでいる。



良寛が愛した里の息吹、水と風の旋律にじつと耳をすませて。

和島地域
The Echigo Niigata Washima

長岡市

お問い合わせは

長岡市和島支所産業建設課
(和島観光協会事務局)

〒949-4511
新潟県長岡市小島谷3434-4
TEL(0258)74-3114(直通) FAX(0258)74-3500
E-mail: wsm-sangyo@city.nagaoka.lg.jp
http://www.city.nagaoka.niigata.jp/kankou/area/area_washima.html

長岡和島エリア

交通

(最寄り駅)JR越後線小島谷駅
JR長岡駅より車で30分/バスで60分
関越自動車道 長岡ICから車で40分
北陸自動車道中之島見附IC・長岡北スマートICから車で20分
北陸自動車道西山ICから車で20分

2019年10月発行

あしま地域

良寛が貞心尼と出逢い、穏やかな日々を過ごした和島。
慈愛の心にあふれ、自然の中に生きた良寛の面影が今なお残る安らぎのまちです。

道の駅 良寛の里washima

Roadside Station Ryokan no Sato Washima

詳細マップ裏面

人々に慕われ、自然の中に生きた良寛さんの心を感じる道の駅。
道の駅「良寛の里washima」は、訪れる人を良寛さんのぬくもりと真心でもてなす道の駅。良寛の多くの遺墨を展示する美術館や地域の郷土料理を提供するお食事処、地域の特産品を一堂に集めた物産コーナー、道の駅限定のスイーツが楽しめるカフェも併設している。



佐渡まで日本海が一望できる

和島オートキャンプ場

日本海を望む高台に位置するキャンプ場。天気の良い日は、丘の上から美しい夕景が楽しめる。海水浴・釣りなど海のレジャーには抜群の立地。キャンプサイトやバンガロー完備。



新潟県の名水に選ばれた霊泉

霊泉井戸神様

開基500年以上の歴史を持つ乗光寺の尊像に由来する霊泉。かつては眼病に効くとされ、治療に通う人もいたと伝えられている。地元では「井戸神様」の名で親しまれている。



春、深紅の椿の花が咲き乱れる

椿の森(良寛歌碑)

つばきのもり(りょうかんかひ) 小さな森の中にある熊野神社は、椿が周囲を囲うように群生し「椿の森」と呼ばれている。良寛がここを訪れ詠んだ歌碑が建っている。



南北朝時代に築かれた城跡

村岡城跡

鎌倉時代の中にある築城とされる城跡。妙法寺と同じく日蓮ゆかりの史跡。雪割草などの群生地ともなっており、地元住民グループにより里山の自然を楽しむ遊歩道が整備されている。



日蓮上人の高弟・日昭上人によって建立された日蓮宗の本山

妙法寺

日蓮宗の本山。鎌倉時代末期、徳治元年に日蓮上人の高弟六老僧日昭上人が創立。鎌倉名瀬(現在の横浜市戸塚区)の妙法寺が旧跡。平成18年に開創700年の法要が営まれた。境内には七堂伽藍等があり鎌倉時代からの歴史と風格を今に伝えている。さらに日蓮宗本尊四天王のうち二天王がまつられている。二天門(赤門)や、石段を上ると木造茅葺の四脚門(黒門)があり、両門とも長岡市の指定文化財となっている。



特産品

清冽な水と空気に育まれ、じっくりと醸された地酒

和島の地酒

漫画、テレビドラマ「夏子の酒」のモデルとなった酒蔵、良寛さまゆかりの酒蔵が伝統の寒造りでじっくりと手間をかけ仕込んだ地酒。和島にある2つの蔵元に越後杜氏の魂が宿っている。



はちすば通り

Hachisuba Avenue

詳細マップ裏面

良寛と貞心尼が出逢い、清らかな師弟愛を育んだ小路。

はちすば通りのある和島の島崎地区は、良寛が尼僧 貞心尼と出逢った場所として知られている。この通り沿いに正門を構える木村家の小庵で良寛は晩年を過ごした。同家の菩提寺の隆泉寺に良寛の墓碑がある。良寛を知ることができる史跡が点在するこの通りを訪ね歩くと不思議と心が満たされる。



たくはつ良寛像(隆泉寺参道左側)

和の粋をこらして築かれた名園

住雲園

越後鉄道(現在のJR越後線)の創業者、久須美親子の邸宅。享保2年(1717年)、16代六郎左衛門政信により築かれた天下の名園。園内には全国から集められた巨石や灯籠が配置されており、樹木の配置の妙を極め、樹間に弥彦山を望むことができる。



特産品 濃厚なのに後味さっぱり。ガンジーミルク

国内でも約200頭しかいない貴重なガンジー牛。新潟県ではここ和島でしか飼育されていない。乳成分・栄養価が非常に高く欧米では「ゴールデンミルク」と呼ばれている。ガンジーミルクを使ったソフトクリームやスイーツは「道の駅良寛の里washima」で購入できる。



大人気のガンジーソフト

観賞できる自然

和島の花「雪割草」

(3月~4月) 可憐な雪割草は、清楚な容姿ながら厳しい雪中に芽を吹く力強さを持ち合わせている。



和島の木「やぶ椿」

(3月~5月) 妙法寺駅近くにある「椿の森」をはじめ、和島のあちこちで自生するやぶ椿を観賞することができる。



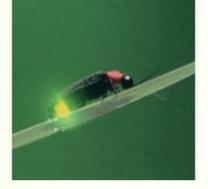
ラベンダー畑

(6月~7月) ラベンダーの花摘み体験や、苗の販売、ラベンダースティック教室も開催されている。蛍の観察もできる。



蛍の群生地

(6月~7月) 自然豊かな和島。蛍が飛び交う時期にはあちらこちらで蛍が見られる。



和島地域のマスコットキャラクター「washimaruくん」。和島地域の魅力のPRを積極的に行っています。

和島 集落案内看板 ※この看板を目印にすると大変便利です。

天を突くようにそびえ立つ

阿弥陀瀬大杉

あみだせのおおすぎ 県道長岡~和島線の阿弥陀瀬地内三叉路より200m行くと巨杉を見ることができ、胸高周囲7.2m樹心天をつくこの大木は日本大木名鑑にも登録されている。

